



表紙：山梨県精進湖より富士山
(提供：鈴木宏記)

- 001 **巻頭言** デジタル化時代における数学の新たな役割
小谷元子
- 005 **論説** 何にも囚われない情熱ある研究を!
伊丹健一郎
- 007 **我が社の自慢** 繊維の研究が生んだ電池のイノベーション
旭化成株式会社

010 **特集** 分子を見る最前線：測定手法
の革新と“新”化学の発見

分子（分子そのものだけでなく、分子の状態を含めて）を見る技術の発展はとても早く、すべてをフォローすることは簡単ではありません。一方で、分野が異なる研究者が知れば、新たなサイエンスの発見・発展に繋がらうる分析手法がどんどん出てきています。本特集では、最新の「分子を見る技術」を5つ選び、それぞれの専門家に簡単に解説していただきました。また、それぞれの分析法や技術から見える先生方のユニークなサイエンスについても合わせてご紹介していただきました。本特集が、新しいサイエンスを生む「出会いの場」になれば幸いです。
〔担当：三宅亮介・河野淳也〕

- 1 結晶スポンジ法がもたらした分子科学技術の革新
藤田 誠
- 2 XAFSイメージングによる固体材料の反応インフォグラフィック
唯 美津木・松井公佑
- 3 単分子原子分解能実時間電子顕微鏡法による
化学反応研究
原野幸治・中村栄一
- 4 液中で分子の構造・動きを観察する原子間力顕微鏡
——液中超解像 AFM と高速 AFM の技術発展
浅川 雅
- 5 高压分光で観えてくる「化学」
水野裕彬・福原 学

025 **BCSJ/Chem Lett グラフィカルアブストラクト**

029 **Division Topics**

- 1 高分子 アスピリンから誘導される循環型ビニルポリマー
- 2 有機結晶 pK_a ルールに基づいた酸-塩基複合体と光機能
材料の設計

- 030 **私の自慢** ワンス・イン・ア・ライフタイムな化合物
——化学者は齢を重ねるが、分子は年をとらない
鈴木孝紀



旭化成本社でノーベル化学賞受賞の記者会見に臨んだ吉野彰氏(上)とリチウムイオン二次電池試作実験第一号目(下)(提供：旭化成株式会社)

2019年度化工誌編集委員会

委員長：西山 繁 理事：工藤一秋

幹事委員：重本建生 / 岡添 隆 / 菅 孝剛 / 長門石 暁 / 緒明佑哉 / 近藤敏啓 / 竹岡裕子 / 砂田祐輔 / 三宅亮介 / 朝倉則行 / 河野淳也 / 三宅深雪 / 山本崇史 / 和田宏明

委員：須藤智子 / 伊掛浩輝 / 小泉武昭 / 野上敏材 / 榎山儀恵 / 森 大輔 / 大久保貴志 / 岡本敏宏 / 山中正道 / 山崎 聡 / 須貝 威

監修：植村 榮 / 岩本振武

★化工誌記事についてのお問合せ E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

デザイン：(株)マツダオフィス

-
- 033 **化学会発**
企業現場見学会 2019 開催報告 産学交流委員会人材交流小委員会
第9回 CSJ 化学フェスタ 2019 開催報告
—未来を見据えた化学情報交換の場— CSJ 化学フェスタ実行委員会
第9回 CSJ 化学フェスタ学生ポスターセッション
—他に類を見ない産学官交流の場です— CSJ 化学フェスタ実行委員会
最優秀ポスター発表賞 (CSJ 化学フェスタ賞) 受賞者コメント CSJ 化学フェスタ実行委員会
- 040 **支部だより**
第63回 TEAC 大会開催記 東北支部
東海地区化学教育討論会 三重大会 東海支部
- 042 **部会だより**
Pacifichem2020 シンポジウム「Advances in Polymer-Functionalized Soft Interfaces」へのお誘い コロナ禍および界面化学部会
- 043 **CCI サロン**
化学よもやま話 植村 榮
- 044 **編集後記**
- 045 **会告** (次号予告)
- 046 **お知らせ**
行事一覧
講習会・講演会
研究発表会——発表募集
-
- 066 **掲示板**
求人・求職
執筆の手引き
日本化学会編集の刊行物
第100回春季年会 (2020)
次頁 広告索引・広告資料請求用紙 (ご活用下さい)

